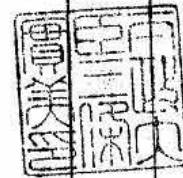


明治七年五月三日 開拓次官黒田清隆

太政大臣三條實美殿

伺之通

明治七年五月十四日



甲斐抄

北海道海路旅費賜方

更正之儀ニ付伺

壬申十月御頒布相成候旅費定則第三章ノ内北海道函館ヨリ奥地ハ十月ヨリ二月迄海里十里ヲ以テ一日分、日當ヲ可賜ト有之候處今後各地方同様ノ規則ニ更正致度候條別記之通御布告相成候様仕度草案相副此段奉伺候也
明治七年五月五日

五月

第四号

用

石

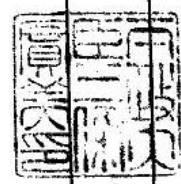
使

開拓次官黒田清隆

太政大臣三條實美殿

伺之趣第七十五号ヲ以テ相達候事

明治七年六月八日



御布告案

壬申十月第三百九號布告旅費定則第三章ノ内北海道函館ヨリ奥地ハ十月ヨリ二月迄海里十里ヲ以テ同斷一日分ノ日當ヲ賜ルヘシト有之候處今般取消候條此旨相達候事

明治七年五月 日

以布告案ハ副本ニ付

甲子年七月

當使七等出仕小牧昌業外一名
清國上海へ出張、儀ニ付伺

當使管下産物清國直輸、儀兼テ
伺濟ノ上著手致シ居候處右實際取
調トシテ今般七等出仕小牧昌業并等
外一等出仕丸田仲太郎同國上海迄出
張為致度此段奉伺候也

明治七年五月五日 開拓次官黒田清隆

太政大臣三條實美殿

五月 六号

開拓使